

南の貝の ものがたり

対談 & 連続講座

参加無料！

真夏の特別展「南の貝のものがたり」をより深く理解していただくために展示品の中からいくつかのテーマを設定し対談と講座を企画しました。第一線で活躍する研究者を招いて特別展示の内容紹介や貝をめぐる歴史や文化をより深く楽しめる講座を開催いたします。

【場 所】： 1階ミュージアムホール（九州国立博物館）

【時 間】： 14:00～15:30

第1回

8月5日（土）

対談「ヤコウガイと南島～古代と現代をむすぶ～」

南島からの贈り物であるヤコウガイ。古来からその美しい輝きは人々の憧れの的となり、様々な実用品と装飾品を作り出し、現代でも私たちを魅了します。本対談ではヤコウガイ研究の第一人者である高梨修氏とヤコウガイアーティスト池村茂氏をおよびし、古代と現代の時空を超えたヤコウガイの魅力を語ります。

【対談者】 高梨修（奄美市立奄美博物館学芸員）

池村茂（工房「海彩」主宰）

【聞き手】 橋本雄（九州国立博物館研究員）

第2回

8月12日（土）

講演「螺鈿^{らでん}って何!? 虹色に輝く貝と漆の宝物」

漆工芸の中でも虹色に輝く貝を装飾として埋め込んだ螺鈿^{らでん}は、その美しさにより多くの人々を魅了し続けてきました。螺鈿の魅力と秘密について当館学芸部長が語りつくします。

【講 師】 小松大秀（九州国立博物館学芸部長）

第3回

9月2日（土）

講演「海のかなたのあの世へ—古墳時代の豪族たちが南の貝を求めたわけ—」

古墳時代、多くの豪族たちが南の貝を形どった腕輪形石製品をもとめました。それは南海のかなたに来世があるという当時の世界観が色濃く反映しています。南の貝から見えてくる古墳時代の日本人の他界観についてお話しします。

【講 師】 河野一隆（九州国立博物館研究員）

【申込方法】

申込者本人の①住所②氏名（ふりがな）
電話番号等を明記の上、はがき・FAX
でお申し込みください。（先着順で200名
様まで。定員を超えた方のみ御参加できな
い旨のお断りの電話連絡をいたします。）
いただいた個人情報はミュージアム講座以外の
目的には使用いたしません。

「南の貝のものがたり」対談&連続講座 参加申込用書			
住所	〒	TEL	
氏名		ご希望の回に○をつけてください（複数申し込み可）	
		第1回	第2回

【申し込み・問い合わせ】九州国立博物館 交流課 〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2

FAX:092-929-3980（申し込み先）TEL:092-929-3294（問い合わせ先） <http://www.kyuhaku.jp>